

九州大学応用力学研究所

RIAM フォーラム 2021

応用力学研究所は、力学とその応用に関する科学的に重要性の高い先端的課題と、現在の人類社会にとっての重要課題である地球環境とエネルギー問題に取り組んでいます。また、全国共同利用研究を基にして、国内外の様々な研究機関との連携を強化し、力学とその応用における世界的研究拠点となることを目指しています。

平成29年度から東アジア海洋大気環境研究センターが大気海洋環境研究センター、高温プラズマ力学研究センターが高温プラズマ理工学研究センターに改組され、3部門（新エネルギー力学、地球環境力学、核融合力学）3センター（自然エネルギー統合利用、大気海洋環境研究、高温プラズマ理工学研究）となりました。また、平成22年度から認定されており「応用力学共同利用・共同研究拠点」としての拠点活動を継続しています。平成29年度からは新たな共同研究の枠組みとして若手キャリアアップ共同研究を設定し、共同研究を通じての若手研究者支援を開始いたしました。また、平成30年度からは分野融合も積極的に推進しております。何卒ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

昨年度からコロナ禍のため研究環境が大きく変わりました。多くの共同研究の計画見直しも行い、多くの新しい試みも行いながら、研究活動を実施してきました。今回のRIAMフォーラムは初のオンライン開催となります。最近の研究成果や今後の活動計画について、報告させていただくことといたします。共同研究者・研究者コミュニティの皆様からのご意見を多数伺いたいと考えておりますので何卒ご参加の程お願い申し上げます。

応用力学研究所長
岡本 創

記

1. 日 時 2021年6月3日（木）13:00 ～ 4日（金）16:00

2. 問合せ先 九州大学応用力学研究所拠点事務室

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6丁目1番地

電話 (092) 583-7702

九州大学応用力学研究所

RIAMフォーラム2021 プログラム

日 時 2021年6月3日（木）13:00～4日（金）16:00
会 場 Zoom

6月3日（木）	講演者	講演タイトル
		座長：吉田 茂雄
13:00-13:20	岡本 創 (所長)	所長挨拶および研究所の現状と将来計画
		受賞記念講演①
13:20-13:55	磯辺 篤彦	社会や政治に向き合う地球科学の研究者は (令和元年 内閣総理大臣賞「海洋立国推進功労者表彰」) (令和2年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」) (令和2年度 第79回西日本文化賞)
13:55-14:30	竹村 俊彦	気候変動・大気汚染のシミュレーションソフトの開発によるエアロゾルの気候変動と大気環境への影響の 定量化の研究 (令和3年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」) (令和元年度 第78回西日本文化賞奨励賞)
		招待講演
14:30-15:05	町田 真美 (国立天文台)	ブラックホール天体の磁氣的活動性
15:05-15:40	小林 孝巨 (佐賀大学)	整形外科領域の有限要素解析
15:40-15:50		(休 憩)
15:50-16:25	WAN Decheng (Shanghai Jiao Tong University)	Numerical Simulation of Coupled Aero-Hydro Dynamic Flows around Floating Offshore Wind Farm
16:25-17:00	荒川 弘之 (島根大学)	ドローンによる大気流れ構造計測 —プラズマ乱流計測の応用—
17:00-17:35	河本 和明 (長崎大学)	受動型・能動型衛星センサーを用いた雲特性の研究
17:35-18:10	小平 翼 (東京大学)	表層海洋ドリフターを用いた沿岸表層海流の観測 —多点計測、海洋大規模観測けに向けた取り組み—
6月4日（金）	講演者	講演タイトル
		座長：吉田 茂雄
		受賞記念講演②
10:00-10:35	弓本 桂也	データ同化によるエアロゾル数値予測の高度化に関する研究 (平成31年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰「若手科学者賞」)
10:35-11:10	花田 和明	QUEST高温壁による水素リサイクリング制御技術の開発と長時間放電の実現 (令和2年度 一般社団法人プラズマ・核融合学会賞「第25回技術進歩賞」)
		若手キャリアアップ成果
11:10-11:30	黒田 賢剛 (応用力学研究所)	(2019-20年度若手キャリアアップ) QUESTにおける簡易型電極を用いたCHI手法での電流立ち上げ実験
11:30-11:50	草場 彰 (応用力学研究所)	(2018年度若手キャリアアップ) GaN結晶成長におけるC不純物取り込み量の理論解析
11:50-13:00		(休 憩)
		特定共研究成果
13:00-13:20	西澤 伸一	(2018-19年度特定研究) 自然エネルギー有効利用に資するエレクトロニクス及び関連材料技術
		関係部局
13:20-13:50	徳田 悟 (汎オミクス計測・計算科学センター)	ベイズ推定に基づく定量的数理モデリング
13:50-14:20	渡邊 康一 (エネルギー研究教育機構)	太陽光と風力の相乗効果を生み出し発電するウィンドソーラータワー
		一般講演
14:20-14:40	千手 智晴	ルソン海峡の乱流混合が亜熱帯貧栄養海域の生物生産に与える影響
14:40-15:00	遠藤 貴洋	トカラ海峡の岩礁で生じる乱流混合がもたらす黒潮の肥沃化
15:00-15:20	文 賛鎬	4次元トモグラフィ、プラズマの特異な挙動を観測
15:20-15:40	渡辺 勢也	格子ボルツマン法による回転する野球ボールの空力解析
15:40-16:00	磯辺 篤彦	Center for Ocean Plastic Studies (COPS:海洋プラスチック研究センター)の設立について
16:00	吉田 茂雄 (副所長)	閉会挨拶